

5年2組 授業者 久道 弥 先生

単元名 「シートバスケットボール」

ねらい より多くのシュートチャンスを作るための動きを考え、伝え合うことができる。



準備運動①「連続パスゲーム」では、相手チームにボールが取られないようなパスの仕方を考えながら、次々とボールを回していきました。



準備運動②「ランパスシュート」では、パス・ドリブル・シュートの全ての動きを使い、コート内を各チームが駆け回りました。



前半のゲームを終え、チーム毎に作戦を話し合いました。どのチームも、言葉や動きを駆使して話し合う様子が見られました。



後半のゲームでは、話合いを踏まえてパスの回り方やポジションを工夫することができました。ゲーム中も、多くの声援やアドバイスが飛び交いました。

今回は「シートバスケットボール」の単元で、より多くのシュートチャンスを作るための作戦を立てながら、ゲームを行いました。

まずは、準備運動として「連続パスゲーム」と「ランパスシュート」に取り組みました。これまでの体育の授業の取組を踏まえ、従来の静的ストレッチが中心の準備運動ではなく、その時間に取り組む種目に繋がる「感覚づくり」をしながら全身を活発に動かすことで、十分な運動量を確保しながら、技術も高めることができるようになりました。今回の「ランパスシュート」では、子供たちが息を弾ませ、コートの手前から端まで走りながらパスを回したり、シュートを決めたりする動きに親しみました。

ゲームは、チームの全員がシュートを入れられたら10点加点というルールにすることで、全員がボールを持ち、シュートできるように工夫する姿が見られました。

前半と後半のゲームの間に、より多く得点を決めるための作戦を話し合う時間を設けると、子供たちは、活発に話合いをしました。後半のゲームでは、話合いで決めた作戦を試し、その場で作戦を練り直しながら試合を進めました。試行錯誤の中で、パス回しやポジションを工夫し、次々と得点を入れることができました。